

# 教育研究所だより

守山市教育研究所発行

平成30年1月24日 No.207 所長 西川 典子  
守山市勝部三丁目9番1号 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター3・4階)  
E-mail kyoikukenyu@city.moriyama.lg.jp Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237  
H P <http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenyu/>

## 「普通に生きたい」と言う若者たちの言葉から見えてくるもの

認定NPO法人 四つ葉のクローバー 代表 杉山真智子

「NPO法人四つ葉のクローバー」はシェアハウスと餃子屋竹の子を運営する社会的養護の必要な若者の自立援助ホームです。児童養護施設でのボランティア活動を通じ、原則18歳で児童養護施設を退所後、社会に出て行く子どもたちのステップハウス設立のためにNPO法人を立ち上げ、子どもたちに住まいを提供しました。その活動が認められ、昨年、自立援助ホームとして県の認可を受けました。

「自立援助ホーム」には児童養護施設出身者だけではなく、虐待を受けたり、愛着障害があったりこれまで適切な公的支援を受けられなかったために、周囲から理解をされずしんどい思いで思春期を過ごした子たちも入所してきます。

虐待やネグレクトに脅かされている子どもの数は、平成26年度に全国で8万8千人を超えており、その内、施設や里親に保護されている子どもは約4万人にとどまっています。半分以上の子どもが適切ではない家庭環境で生活しており、誰かの助けを待っているかもしれないという現状を知っていただくことも「四つ葉のクローバー」の仕事です。

当ホームの卒業生が「僕が小学生のころの学校の遠足や旅行の写真には、どれを見ても顔にアザがあるのに、先生たちが知らんふりをしていたのは何でやったんやろ？父親と義母に6年間、ほぼ1年中殴られ、心がきつかった。『大丈夫か？』と聞いてくれたのが、中学で出会った先生や。僕は、あの先生がいてくれたから地獄から助けてもらえた。その先生と、児童養護施設でキレて暴れまくるなど、ウソの固まりの僕を根気よく育て直してくれた職員さんたちのおかげで、僕は今こうして社会人として生きている。」と思いを語ってくれました。また、彼は、悩める後輩たちに「俺は、今でも殴られていたときのことがフラッシュバックする。傷は一生消えないと思う。上手にトラウマとつきあって生きていくしかないやろ？人生悪いことばかりではないで。俺ら、人の痛みがわかる人間やんけ。なっ、がんばろ！」と声をかけてくれました。

彼らは「辛かった過去の自分」を語り、「夢」を考えられるようになっていきます。何回失敗してもやり直せる場所。自分の帰れる場所。それが自立援助ホームです。

「夢か・・・そうやな・・・俺らの夢は普通でええねん！！」

「普通って何？」

「普通って、親がいて、家があって、ご飯があることや。それが夢や！！！」

「普通に生きたい」と願う彼らの怒りと悲しみの奥にあるのは、「幸せになりたい。人の役に立てる人間になりたい。」という彼らの夢が込められているのではないのでしょうか？

「神様は、一生懸命生きていたら必ず助けてくれる！！！」と彼らの背中を押すことも「四つ葉」の仕事です。2018年2月17日土曜日の午後1時より守山市民ホールにて『クローバードリームライブ』を開催します。若者たちが語ります。皆さま、元気な若者たちに会いにきてください。  
(詳細は「四つ葉のクローバー」にお問い合わせください。電話 584-5688)



## 不登校や子育てなどの悩みをもつ方へ

### 教育相談

守山市教育研究所（エルセンター3、4F）では、教育相談を行っています。

#### ○面接相談や電話相談

- ・不登校や子育てなどの悩みをもつ保護者への面接相談、電話相談

（日時：毎週月～金曜日 午前9時から午後5時まで）

- ・教員への相談活動

・月曜日から金曜日の全日（午前9時から午後5時まで）

速野公民館でも面接相談を行っています。

（日時：毎月2・4木曜日午前10時から午後3時まで）

お申し込みは、前日までに守山市教育研究所までお電話ください。

守山市教育研究所 教育相談電話 TEL 077-583-4237

## 守山市教育研究発表大会のお知らせ

1. 日 時 平成30年2月7日（水）13:45～16:50（受付は13:30～）

2. 場 所 守山市民ホール 小ホール

3. 対 象 約300人

- （1）市内保・幼・こども園・小・中・高等学校の教職員ならびに保護者
- （2）市内教育関係諸機関職員、市民など

4. 内 容

（1）受 付 13:30～13:45

（2）開会行事 あいさつ 13:45～13:55

（3）守山市中学生海外研修報告 13:55～14:15

（4）全国学力・学習状況調査の考察 14:15～14:30

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上の取組

（5）教育研究発表 14:30～15:20

①教育に関わる調査研究報告（14:30～14:55）

国語科「子どもが書きたくなる『書くこと』の学習指導について」

②指導力向上に関する研究報告（14:55～15:20）

算数・数学科におけるアクティブ・ラーニングやICTを活用した授業の実践

（休 憩）

（6）教育講演会 15:30～16:40

講 師 春日井 敏之 氏（立命館大学大学院研究科長）

演 題 「思春期のゆらぎと支援」

ー子どもの願いと大人の役割ー

講演内容 特別支援を必要とする子どもや不登校など子どもの変化や変貌に、親がどう向き合うのか、またどう接していくのかなど子どもの思いと大人の役割についての講演。

（7）閉会行事 あいさつ 16:40～16:50

5. 教育講演会のプロフィール

京都府内の公立中学校に教諭として赴任し、20年余り勤務。生徒指導、教育相談等を長く担当する。2001年より立命館大学文学部人文学科教育人間学専攻に。2006年文学部副学部長、2009年～2011年教学部長、2012年～2013年サービスラーニングセンター長、2015年～2016年学長特別補佐、2017年～大学院教職研究科長。1990年代より、「親の会」などに関わりながら、地域における不登校への支援にも参画し、現在「登校拒否・不登校問題全国連絡会」の世話人等を務める。学校現場の教師とのケース・カンファレンス（事例検討会）も長年継続している。主な研究テーマは「思春期的人格発達と支援関係（いじめ、不登校問題）」、「教師の自己形成・自己変容プロセス」、「学校教育相談と開発的カウンセリング」など多数。